

コミュニティ助成事業、当初見込みを上回る事業が採択 集落センターの建設設備で昨年度と同じ3件が採択され、予算は約3000万円追加

今年度の財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業では、上越市の当初見込みを上回る事業が採択され、助成決定を受けたことがこのほど明らかになりました。

同助成事業には、神輿、防犯灯や音響設備等コミュニティ活動に直接必要な設備の整備への助成（100万円～250万円の範囲で補助）を行う一般コミュニティ助成事業と集会施設の建設整備への助成（補助率3/5以内、限度額

1500万円）を行うコミュニティセンター助成事業等があります。

今年度はこのうち、コミュニティセンター助成事業がこれまで一番多かった昨年度と同じ3件、3170万円が採択となり、関係者を喜ばせています。採択された町内会は、青木、北新保、鶴町の3つです。当初予算で行政側は、今年度の採択件数はゼロと見込んでいました。

5日から始まった定例議会には今年度一般会計補正予算にコミュニティ助成事業関連予算が計上され、同事業費は当初予算の3000万円から2920万円増の5920万円へと膨らみました。

直江津港の貨物量、52%増

直江津港における貨物量が増えています。昨年度は前年比52%増の355万トンにもなりました。外国コンテナ貨物も産業機械などの輸出の伸びにより3年連続で過去最高を記録しているという

ことです。こうしたなか、先月28日の午後、直江津港湾協会の通常総会と講演会が行われました。



【ノイバラ】バラ科の落葉性のつる性低木。漢字で「野茨」と書きます。つぼみがピンクがかっているものもあります。開花時期はいま、市内の各地で見ることができます。吉川区で撮影。

講演会では、北陸地方整備局次長の松原裕さんが、「港湾行政の動向と直江津港への期待」と題して話をされました。直江津港は日本海側拠点港としてエネルギー輸入などの拠点となっていることや3・11東日本大震災の教訓を踏まえて防災機能を強化していく必要があることなどが印象に残りました。

講演会後の懇親会にも参加してきました。車に乗って行きましたので、ウーロン茶でがまんしました。懇親会の中では、港湾協会の会員である企業の人たちとも話ができました。わが家が尾神にあった当時の家を建てたN建設の社長さんとも再会できました。

※写真は港湾協会のパンフレットから引用させてもらいました。

私の一般質問は13日午後の予定

6月議会の一般質問は12日から4日間の予定で行われます。

私は10番目、安倍内閣のTPP参加についてとドクターヘリの活用の問題で市長に質問します。このうちTPPについて、村山市長はこれまで、賛成反対を明らかにしませんでした。上越市の農業をはじめとする産業、医療などに重大な影響を与える問題で積極的な答弁を求めたいと思っています。

質問の模様はケーブルテレビとインターネットで中継されますので、ごらんください。

団体名	区名	事業内容	助成金額 (単位：千円)
北城町四丁目町内会	高田	子供神輿の購入	2,500
稲田一丁目町内会	新道	屋外放送設備の購入	2,100
稲田二丁目町内会	新道	子供神輿、神輿格納庫の購入	2,500
天王町町内会	直江津	屋台用足場材、屋根等の購入	1,400
国府三丁目町内会	直江津	長胴太鼓、太鼓台の購入	2,100
大島町内会	大島	除雪機の購入	2,500
上達町内会	大島	除雪機の購入	2,500
旭地区協議会	大島	神輿の購入	2,500
東松ノ木町内会	牧	除雪機の購入	1,500
板倉まちづくり振興会	板倉	屋外放送設備、テント等の購入	2,500
田井町内会	板倉	防犯灯、屋外放送設備、カラオケ機器の購入	1,200
荒牧町内会	清里	除雪機の購入	2,100
寺脇町内会	清里	除雪機の購入	2,100
一般コミュニティ助成事業総計			27,500

まさか、と思われるでしょうが、その、まさかが現実になりました。人間がギターを弾き、歌う曲になんとカラスが合いの手を入れたのです。コンサート会場となった民家の一室では、「あら、まあ」という声とともに笑い声も出ました。

五月の最後の日曜日。中郷区江口のFさん宅で料理と音楽、それにマジックを楽しむ会があり、参加してきました。Fさんは高田の町に居酒屋を出しておられ、私は近くで会議があった時など、年に数回、ゆつくりした時間を過ごすために利用させてもらっています。その縁で、出かけてきたのです。

この会のテーマは「人生ってすばらしい！」。コンサートとマジックの前にピザや焼き肉などを楽しみました。なかでもピザが美味かった。Fさんの自宅脇の作業所になるのでしょうか、この建物の奥に煉瓦造りの窯（かま）があり、ピザはそこで薪（たきぎ）をくべて焼いたものでした。私は、自分の目の前の窯で焼いたピザを食べるのは初めてです。「こんなふうにして楽しむのか」と感心しました。

Fさん宅は国道から少し入ったところにあります。たくさんのお花が庭に植えられていて、すぐそばには田んぼもあり、県境の山々が見えます。コンサートは、午後一時過ぎからFさん宅の一階の大きな部屋で始まりました。

ギターを弾き、歌を歌ったのは新潟市在住の音楽家、さとう・えみさん。青山学院大学在学中よりヴォーカリストとして活動、新潟に戻ってからはジャズヴォーカルを学びライブハウス等への出演を重ねている人です。この日は代表的なボサノバを六曲ほど歌いました。

一曲目は短い曲、でも、何度も聞いたことのある懐かしい曲でした。恋をし、失恋を繰り返していた一〇代後半から二〇代の頃の切ない気分が甦ってきました。たぶん、喫茶店で聴いていたのでしようね。曲のリズムは私の耳にしつかりと残っていました。二曲目も三曲目も曲名はわかりませんが、初めてではありませんでした。体をゆすったり、両手で膝を軽く打ってリズムをとりたくなるような曲が続きました。

そして四曲目でした。えみさんが歌い始めると、丁度いいタイミングで、「カア、カア」というカラスの鳴き声が聞こえてきたのです。それも一回だけではありません。歌っているえみさんが息を吸うときに、「カア、カア」を数回繰り返したので、びっくりしましたね。もちろん、鳴き声は外からです。聴衆のみなさんの中から「伴奏している」という声が聞こえてきました。

コンサートの会場にはマイクとスピーカーがあり、歌は会場だけでなく、私が座っていた近くの窓から外へと流れていったのでしよう。この四曲目は、映画音楽として有名な「カーニバルの朝」という曲で、合いの手を入れるにはちょうどよい、ゆつくりしたリズムです。カラスが気に入ったとしても不思議ではありません。

マジシャン・カズのマジックも大好評でした。カズさんは、一昨年の東日本大震災以来、福島に数十回ボランティアに入り、被災者の支援活動を続けています。高田の夜桜を観てほしいと願い、考案した花吹雪を次々と作りだすマジックには大きな拍手とカンパが寄せられました。

この日、中郷区はニセアカシアの素敵な香りがあちこちに漂っていて、それだけでも強く印象に残ったのですが、この日のコンサートで初めて聞いたカラスの合いの手によって、忘れられない一日となりました。

杜氏として41年、柳沢さんの受章祝賀会に参加

長野県木曾町の七笑酒造などで杜氏として41年間活躍されてきた柳沢久さんの黄綬褒章受章祝賀会に来賓として呼ばれ、参加してきました。柳沢さんは吉川区長沢出身で77歳。

祝賀会には七笑酒造の川合社長や醸造部の人たち、そのほか多くの酒造関係者、親戚の人などが集まって受章を祝い

ました。柳沢さんは上越地区酒造研究会や新潟県酒造従業員組合連合会の幹部としても功績があります。

七笑酒造の川合社長が来賓として挨拶されたとき、柳沢さんの目がうるんでいるのが見えました。いろいろなことが思い出されたのでしょう。七笑酒造の醸造部の人たちが何人も上越まで足を運ばれたのには驚きました。会社として、同じ仲間としてうれしかったのだと思います。

前から聞いておりましたが、柳沢さんは私の父と旧岩室村の宝山酒造で一緒に仕事をされたそうです。私とは旧吉川町農業委員として一緒にの時がありました。親子二人してお世話になったというわけです。柳沢さん、本当にご苦労様でした。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	5月29日(水)	6月5日(水)
上越南消防署	0.033	0.033
上越北消防署	0.050	0.053
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.050	0.047
東頸消防署	0.043	0.047
高土分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.050	0.050

まさか、と思われるでしょうが、その、まさかが現実になりました。人間がギターを弾き、歌う曲になんとカラスが合いの手を入れたのです。コンサート会場となった民家の一室では、「あら、まあ」という声とともに笑い声も出ました。

五月の最後の日曜日。中郷区江口のFさん宅で料理と音楽、それにマジックを楽しむ会があり、参加してきました。Fさんは高田の町に居酒屋を出しておられ、私は近くで会議があった時など、年に数回、ゆつくりした時間を過ごすために利用させてもらっています。その縁で、出かけてきたのです。

この会のテーマは「人生ってすばらしい！」。コンサートとマジックの前にピザや焼き肉などを楽しみました。なかでもピザが美味かった。Fさんの自宅脇の作業所になるのでしょうか、この建物の奥に煉瓦造りの窯（かま）があり、ピザはそこで薪（たきぎ）をくべて焼いたものでした。私は、自分の目の前の窯で焼いたピザを食べるのは初めてです。「こんなふうにして楽しむのか」と感心しました。

Fさん宅は国道から少し入ったところにあります。たくさんのお花が庭に植えられていて、すぐそばには田んぼもあり、県境の山々が見えます。コンサートは、午後一時過ぎからFさん宅の一階の大きな部屋で始まりました。

ギターを弾き、歌を歌ったのは新潟市在住の音楽家、さとう・えみさん。青山学院大学在学中よりヴォーカリストとして活動、新潟に戻ってからはジャズヴォーカルを学びライブハウス等への出演を重ねている人です。この日は代表的なボサノバを六曲ほど歌いました。

一曲目は短い曲、でも、何度も聞いたことのある懐かしい曲でした。恋をし、失恋を繰り返していた一〇代後半から二〇代の頃の切ない気分が甦ってきました。たぶん、喫茶店で聴いていたのでしようね。曲のリズムは私の耳にしつかりと残っていました。二曲目も三曲目も曲名はわかりませんが、初めてではありませんでした。体をゆすったり、両手で膝を軽く打ってリズムをとりたくなるような曲が続きました。

そして四曲目でした。えみさんが歌い始めると、丁度いいタイミングで、「カア、カア」というカラスの鳴き声が聞こえてきたのです。それも一回だけではありません。歌っているえみさんが息を吸うときに、「カア、カア」を数回繰り返したので、びっくりしましたね。もちろん、鳴き声は外からです。聴衆のみなさんの中から「伴奏している」という声が聞こえてきました。

コンサートの会場にはマイクとスピーカーがあり、歌は会場だけでなく、私が座っていた近くの窓から外へと流れていったのでしよう。この四曲目は、映画音楽として有名な「カーニバルの朝」という曲で、合いの手を入れるにはちょうどよい、ゆつくりしたリズムです。カラスが気に入ったとしても不思議ではありません。

マジシャン・カズのマジックも大好評でした。カズさんは、一昨年の東日本大震災以来、福島に数十回ボランティアに入り、被災者の支援活動を続けています。高田の夜桜を観てほしいと願い、考案した花吹雪を次々と作りだすマジックには大きな拍手とカンパが寄せられました。

この日、中郷区はニセアカシアの素敵な香りがあちこちに漂っていて、それだけでも強く印象に残ったのですが、この日のコンサートで初めて聞いたカラスの合いの手によって、忘れられない一日となりました。

安塚、頸城、三和、吉川の4区でも防災無線戸別受信機配備へ

上越市は区独自のケーブルテレビによる放送が行われている地域でも防災行政無線戸別受信機の配備をすすめるため、関係工事の入札を行い、請負契約をする段階までま

た。今議会にはその契約案件が提出されています。

災害が発生した時、あるいはその恐れがある時などの情報を市民にお知らせするには防災無線が欠かせません。家の外はもちろんのこと、家の中にいても聞こえるようにと上越市はこれまで、地区の状況に応じて防災行政無線戸別受信機、防災ラジオ、ケーブルテレビ告知端末装置を使って情報を伝えてきました。ところが、ケーブルテレビ告知端末装置を使って情報を伝えてきた安塚区、頸城区、吉川区、三和区の4区では、告知端末装置の生産中止によって、壊れても入れ替え対応ができなくなる可能性が出てきました。このため、この4区でも他区や合併前上越市の中ノ俣や桑取・谷浜地区の

ように防災行政無線の戸別受信機を配備することにしました。今議会に示された4区での防災行政無線（デジタル同報系）戸別受信機設置工事の概要によると、受信機を設置するところは約7000世帯。5月22日に行われた入札では東光・矢野共同企業体が落札し、市と仮契約を結んでいます。契約額は4億1863万5000円です。議会でこの契約が承認されると、平成27年3月15日の工期内の完成を目指して機器の手配や設置準備などが始まります。写真はすでに市内で配備されている戸別受信機。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	5月29日(水)	6月5日(水)
上越南消防署	0.033	0.033
上越北消防署	0.050	0.053
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.050	0.047
東頸消防署	0.043	0.047
高土分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.050	0.050

